



業務用エコキュート



制熱能力
40kW級



ヒートポンプ蓄熱センターより感謝状をいただきました(2012年度)

【低外気温時の能力について】

外気温 **-15℃** まで運転可能



【特長①】優れた省エネ性

新開発のインバータスクロールCO₂コンプレッサ搭載により

年間加熱効率 **3.7** を達成

高COPで運転コストを低減

新開発のインバータスクロールCO₂コンプレッサを搭載。ガスボイラーに比べ、高効率な運転で給湯ランニングコストを大幅に削減します。

※1 業務用エコキュートにおける外気温は16℃(給湯12℃)とし、入水温度=17℃、出湯温度=65℃の値を示します。

当社試算条件

中規模老人福祉施設の給湯負荷を想定
業務用エコキュート2台

開放貯湯槽 15t 貯湯温度 65℃

ガスボイラー仕様：発熱量：250Mcal/h 効率：85%

油ボイラー仕様：発熱量：250Mcal/h 効率：85%

■年間ランニングコスト比較(千円/年)



■電気料金：変圧用電力契約
・夏季16.65円/kWh 他季15.55円/kWh
夜間8.52円/kWh
・基本料金 1,638円/kW月

■ガス・油料金
・LPG 200円/Nm³ A重油 90円/ℓ

【特長②】省CO₂

再生可能な大気熱を利用して消費エネルギーを大幅削減

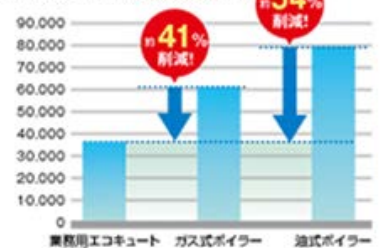
CO₂を減らして環境に貢献

空気の熱を利用するエコキュートはガスボイラーに比べて、消費エネルギーを大幅削減。光熱費を節約できるだけでなく、エネルギー消費を抑えることでCO₂排出量の削減にも貢献します。

当社試算条件

中規模老人福祉施設の給湯負荷を想定
業務用エコキュート2台
開放貯湯槽 15t 貯湯温度 65℃
ガスボイラー仕様：発熱量：250Mcal/h 効率：85%
油ボイラー仕様：発熱量：250Mcal/h 効率：85%

■年間CO₂排出量の比較(kg-CO₂/年)



■CO₂排出量換算係数
・電気 0.500kg-CO₂/kWh
・LPG 3.000kg-CO₂/t
・A重油 2.711kg-CO₂/ℓ

【特長③】貯湯運転・循環保温運転の両方に対応

インバータ制御により貯湯槽循環保温運転を可能に！

●夜間運転（一過式貯湯）

夜間は給水を加熱し貯湯槽に貯湯します。

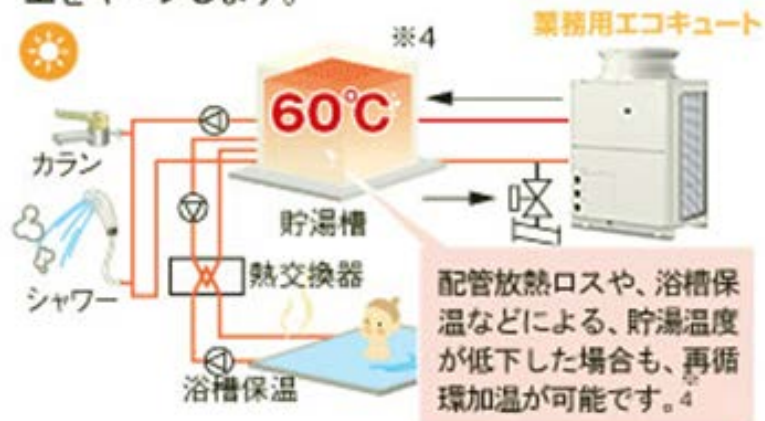
注) 下図は65℃貯湯で夜間給湯がない場合



※3 当社推奨開放貯湯槽との組合せでの推奨貯湯温度（出荷時設定）は65℃になります。貯湯温度を65℃以上に設定される場合は対象給湯システムが火傷のおそれがない仕様である場合に限ります。また、実際の貯湯可能温度は、貯湯運転開始時の貯湯槽内残湯量及び残湯温度により変化しますので、設定値にならない場合があります。

●昼間運転（循環加温）

昼間は配管放熱や浴槽保温などによる貯湯槽温度低下に伴う、再循環加温運転を行い、貯湯槽は60℃以上をキープします。



※4 貯湯槽内の湯温低下に伴う再加温運転開始温度（保温温度）上限は61℃となります。貯湯槽内湯温を常時61℃以上に温度確保が必要なシステムの場合は別途利用端末でのブースターヒータ等が必要になります。